
■ 【不定期連載】デジタル人材採用のヒント

＜第1回＞ DX 人材とは？デジタルネイティブ企業に見る職種一覧

株式会社ピボット シニアコンサルタント 新保 博文

.....

▼参考にするべきはデジタルネイティブ企業。人材の区分は「ビジネスサイドと開発サイド」

「DX」がさまざまな企業で重要な経営課題となり、連動して中途・新卒双方での重要な採用課題になっています。

本来、採用活動のスタートラインとは、求める人材像を明確にすることです。しかし、比較的新しい職種群である DX 人材はその一般的定義が確立しておらず、それが採用の難しさにつながっています。

デジタルネイティブな企業群（スタートアップやデジタル専業会社）では、DX 人材の対象職種群がある程度確立していますので、まずはそれらを参考にすることから始めるのをお勧めします。

なお、今回見ていく対象は「デジタルを活用した事業を展開している企業」です。（社内オペレーションのデジタル化といった DX ではなく、デジタルを活用した事業創出にスコープを当てています）

デジタルを活用して事業を展開する組織は、基本的にビジネスサイド、開発サイドに分かれています。以下、この2つの区分について詳しく解説していきます。

※詳細な職種定義は会社によって若干異なります。その点はあらかじめご容赦ください

.....

▼「ビジネスサイド」の職種群

ビジネスサイドの職種とは、営業やマーケティングなどの職種を指します。ざっくりいえば、顧客と直接・間接的に接点を持ち、売上を作っていく職種群です。代表的な職種は以下の通りです（図1）。

- ・ ビジネスディベロップメント（事業開発）

- ・マーケティング
- ・インサイドセールス
- ・フィールドセールス
- ・カスタマーサクセス
- ・カスタマーサポート

BtoC であれば、インサイドセールス／フィールドセールス／カスタマーサクセスという役割がないケースも多く見られます。

「カスタマーサクセス」は、比較的近年登場した DX に特徴的な職種（概念）です。従来は、営業職が既存顧客にアップセル・クロスセルなどを行ってきました。この部分を「カスタマーサクセス」が担います。

SaaS を例にとると、「売って終わり」ではなく、そのシステムを使ってお客様自身のオペレーションを変える必要があります。それにより、効率化や、生産性向上を実現できます。そのために、サービスの利用データ分析や定例ミーティングを行いながら、お客様に伴走するのがカスタマーサクセスです。

【図1】ビジネスサイドの職種群

ビジネスディベロップメント(事業開発)	事業開発を担当。手法としては、新規事業開発、既存事業のリニューアル、他社とのアライアンス、M&A など多岐に渡る。
マーケティング	リード(潜在顧客)を獲得する。 そのための Web 広告やリアル展示会、Web コンテンツを作成。 コミュニティマーケティングの役割に特化したコミュニティ・マネージャーという役職もあり。
インサイドセールス	リードに対してアプローチを行い、商談を進めていく。 具体的には、メールや電話を使ったコミュニケーションを行い、自社サービスの理解を深めてもらう。
フィールドセールス	インサイドセールスが進めた商談を、個別顧客の実態に応じた具体的な提案を行い、商談をクロージングさせる。
カスタマーサクセス	サービス利用後に、顧客が最大限活用し、顧客の成果につながるよう支援を実施。その中で、契約の継続、アップセル、クロスセルを行う。
カスタマーサポート	顧客からの使い方の紹介などに回答する。カスタマーサクセスは能動的であり、カスタマーサポートは受動的な傾向がある。

▼「開発サイド」の職種群

開発サイドの職種群に分類されるのは、システム開発をする職種群です（エンジニア職と言
い換えても問題ありません）。

「デジタルを活用した事業」は、ほぼ必ず Web サービスの開発を伴います。
したがって、エンジニアの職種は Web サービスの構造（Web システムの領域）区分で分類
されます。

Web システムの領域を「デザイン／クライアントサイド（フロントエンド、モバイル）／
サーバーサイド／インフラ」に分け、エンジニア職種をマッピングすると下図になります
（図2）。

（デザイナーは正確にはエンジニアではないのですが、エンジニアリングチームに所属す
ることが多いです）

実際の採用選考にあたっては、エンジニアの詳細なスキルを深掘りして解像度を上げる必
要がありますが、まずは、下図のようにざっくりとエンジニアの職種を理解いただくだけで
問題ありません。

【図2】開発サイドの職種群



図2にある「フルスタックエンジニア」とは、一つの領域だけでなく幅広い領域の知識があ

り、一人で一通りの開発ができる人を指します。
特に、立ち上げ当初のサービスや企業では、フルスタックエンジニアが活躍することになります。

この役割分担以外にもエンジニアの種類は存在し、機械学習エンジニア、QA エンジニア、セキュリティエンジニアなどもあります。
プロジェクトマネージャーやテクニカルプロダクトマネージャーといった、マネジメント系職種もあります。

※より詳しく知りたい方は、【参考1】Web サービスの構造も併せてお読みください。

.....

▼第3の職種領域、ビジネスと開発の架け橋「プロダクトマネージャー」

ここまで、ビジネスサイドと開発サイドで職種を見てきましたが、重要な職種であるプロダクトマネージャーについて触れてきませんでした。

プロダクトマネージャーは、市場に受け入れられるプロダクトを作っていくことに責任を持ちます。

キャリアパスとしては、ビジネスサイドと開発サイドのどちらからでもなれるポジションですが、ビジネスと開発の両方の知見がなければなりません。

ビジネスサイドの人間は、コードを書ける必要はありませんが、システムの仕組みや開発の進め方などに対する一定の知識は求められます。

他方、開発サイドの人間は、開発だけでなくドメイン知識をはじめとしたビジネスに対する理解も必要です。

ビジネスと開発の架け橋となって、プロダクトを成功に導くのがプロジェクトマネージャーの役割です。

会社の役職で例えるならば「ミニ CEO のようなポジション」というとご理解いただきやすいかと思います。

※プロダクトマネージャーは、プロダクトオーナーと呼ばれることもあります。一旦同義と捉えていただいて問題ありません。

.....

(次回予告)新卒?中途?どのようにデジタル人材を確保するのか?

今回は、DX 人材の職種を中心にお話しました。

DX 人材は豊富な経験や高い専門性が要求されるため、社内人材の活用や中途採用が人員確保手段のメインとなります。

しかし、職種や領域によっては、新卒社員から育成し活躍できる場合もあります。

次回以降は、「どの職種を新卒で狙っていくか」「活躍する人のマインドセット」などを解説していきます。

.....

【参考1】Web サービスの構造

Web サービスでは、PC やスマホを通して目に見える画面物を【クライアントサイド】とい
います。

クライアントという言葉の通り、お客様のように何かをリクエストする、と捉えるのです。

例えば、ある特定のページを見たい時、リンクをクリックします。このクリックが「特定の
ページを見たいというリクエスト」です。

クライアントがリクエストする先は、目に見えない部分である【サーバーサイド】です。

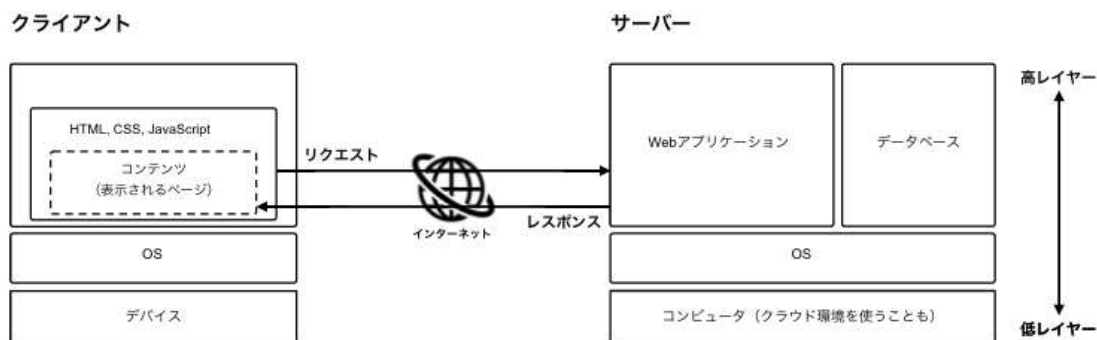
【サーバーサイド】はそのリクエストを受け、リクエストにレスポンスをします。

そのレスポンスを【クライアントサイド】では処理して表示させています。

整理すると、下図のようになります (図 3)。

【図3】Web サービスの構造

- ・ クライアントサイド : ユーザーの目に見える側
- ・ サーバーサイド : ユーザーの目に見えない側



なお、Web サービスにおいては【クライアントサイド】を開発することを【フロントエン
ド】開発とも表現することが多いです。

デザイナーが作ったデザイン (テキストを含む) を、画面上に配置したり、動きをつけたり
する部分が【フロントエンド】です。

【サーバーサイド】を、【バックエンド】ということもあります。

【バックエンド】は、単純にアプリケーションとしてのサーバーを指すこともあれば、サーバーの環境設定を行うインフラまでを指すこともあります。

ここではざっくりと、システムの裏側でデータベースや、処理のロジックなどが作られていると考えてください。

【インフラ】はそれらを作るための環境設定などです。

最近では、インフラ環境の構築にクラウドサービス（例えば AWS など）を利用することも多く、クラウドエンジニアという言葉も出てきています。

.....

【参考2】エンジニア職種の分かりづらさについて

開発知識のない方にとって非常に分かりづらいのが、エンジニア職です。

エンジニア職と一口にいっても多様な職種があり、職種ごとに持っているスキル（開発言語、ツールなど）も異なります。

そして、スキルの変化が非常に激しく、年々、新しい言葉（開発言語やツール、開発手法など）が登場し、職種自体も新しいもの・ネーミングが登場します。

このような状況が、（特に文系畑の方にとって）「苦手。難しい」と感じさせる要因になっています。

とはいえ、これが分からないとエンジニア職の採用は絶対にうまくいきません。

ただし、そこまで深い知識は必要ありません。

今回お伝えしたような「システムがどういう構成になっているのか、その構成の中でどんな職種があるのか」については、さまざまな解説が存在します。

そうした解説をいくつか見ていくうちに、徐々に理解の解像度が上がっていきますので、臆せず慣れていきましょう。

.....

<執筆者紹介>

新保 博文(しんぼ ひろふみ)

株式会社 Work with Joy CEO

エンジニア採用特化型スカウトサービス、人材定着・高度化向け 1on1 コミュニケーションサービス等を提供

<https://www.workwithjoy.co.jp/>

【本資料へのお問合せ先】STUDENTS' REPORT 編集部 support@pivot-inc.co.jp / 050-3649-7671

©株式会社ピボット「STUDENTS' REPORT」は株式会社ピボットの著作物です。会員以外の閲覧および無断転送、複製、転載を禁じます。